

2019 年 3 月 13 日

2019 年 2 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は改元前という事が影響したのか全体的に仕事量の減少が見られ、オンデマンド用途も伸び悩み前年を下回った。

（前年比 94.0%）

巻取は A3 マット・A2 マットコートからの移行や不動産ポスティングチラシ、損保関連とテキスト関連の追い込みの仕事も順調に推移して前年を上回った。

（前年比 112.0%）

再生紙平判は仕事量では前年並の引き合いがあったが、各メーカー在庫不足もあり前年を下回った。巻取は官公庁大口案件の動きが見られ前年を上回った。

（前年比 再生上質平判 86.8% 再生上質巻取 112.2% 再生上質計 97.2%）

（前年比 印刷用紙 A 97.6%）

<A2 コート>

平判は金融、生損保、各企業カタログ等で動きがあったものの前月に前倒しされた案件等の反動もあり、グロス紙を中心に前年を下回った。

巻取は生損保パンフ、アパレル春夏向けのカatalog等で動きがあったものの、品薄の影響もありグロス紙、マット紙とも前年を下回った。

（前年比 平判 95.0% 巻取 97.7% 全体 95.6%）

<A3 コート>

学習塾、不動産、金融関連で動きがあり、巻取品の品薄による部数減少及び一部平判への移行もあったが、ほぼ前年並みの動きであった。

（前年比 平判 105.3% 巻取 96.2% 全体 99.4%）

<ノーカーボン紙>

生損保、帳票関連の動きは見られたものの元号改定の影響もあり全体的な動きも弱く平判・巻取共に前年をやや下回った。

（前年比 平判 99.5% 巻取 99.2%）

<上質フォーム>

生損保官庁関連の動きも弱く、年度末需要の動きも見られず元号改定の影響もあり前年を大きく下回った。

（前年比 84.7%）

＜包装用紙＞

特殊両更は金融、官公庁向け封筒用途が低調で前年を大幅に下回った。

（前年比 82.3%）

軽包装は手提げ袋用途と製本会社向けの雑包装用途が好調で前年を大幅に上回った。

（前年比 118.5%）

片艶晒は専門店手提げ袋用途や金融関係の封筒用途で動きはあったが前年を下回った。

（前年比 97.6%）

両更晒は高額商品向け手提げ袋や封筒用途での動きがあり前年を上回った。

（前年比 104.6%）

色クラフトは一般企業向け封筒、役所向け封筒等に動きがあり前年を上回った。

（前年比 108.4%）

包装紙合計で 100.5%と前年とほぼ同等の動きとなった。

＜板紙＞

高板のカード関連や化粧品、POP 等が比較的堅調であったが、白板紙は暖冬もあり菓子や食品、日用品パッケージ関連が大幅に減少し結果昨年を下回った。

（前年比 94.7%）